

News Release



(別添)

2022年9月16日

NITE (ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

中 部 支 所

人的被害の約4割が60歳代以上！

使い方次第で“大けが”を負うことも

～ はしご・脚立の事故に注意～

(東海 4 県版)

NITE (ナイト) が収集したはしご・脚立^{※1}の事故情報^{※2}は、東海地方4県(静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県)では、2017年度～2021年度までの5年間に合計21件あり、被害状況は死亡1件(5%)、重傷9件(43%)、軽傷11件(52%)となっています。

- (※1) ロフト用のはしごや天井収納型のはしごの事故を除く。はしご兼用脚立は、はしご状態として使用したときに発生した事故は「はしご」、脚立状態として使用したときに発生した事故は「脚立」としてカウントする。
- (※2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故(ヒヤリハット情報(被害なし)を含む)。

1. はしご・脚立の製品事故の発生状況

(1) 東海4県の年度別 事故発生件数

表1にはしご・脚立の製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表1 はしご・脚立の「県別」及び「年度別」の事故発生件数(単位:件)

年度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
2017年度	0	2	0	3	5
2018年度	2	2	2	0	6
2019年度	0	3	0	0	3
2020年度	0	1	0	1	2
2021年度	1	1	2	1	5
合計	3	9	4	5	21

(2) 東海 4 県の被害状況別 事故発生件数

表 2 にはしご・脚立の製品事故の「県別」及び「被害状況別^{※3}」の事故発生件数を示します。

表 2 はしご・脚立の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）

被害状況 ^{※3}		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	1	0	0	0	1
	重傷	1	3	3	2	9
	軽傷	1	6	1	3	11
物的被害	拡大被害	0	0	0	0	0
	製品破損	0	0	0	0	0
被害なし		0	0	0	0	0
合計		3	9	4	5	21

(※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 東海 4 県の年代別一被害状況別 事故発生件数

図 1 にはしご・脚立の製品事故の「年代別」及び「被害状況別」の事故発生件数を示します。

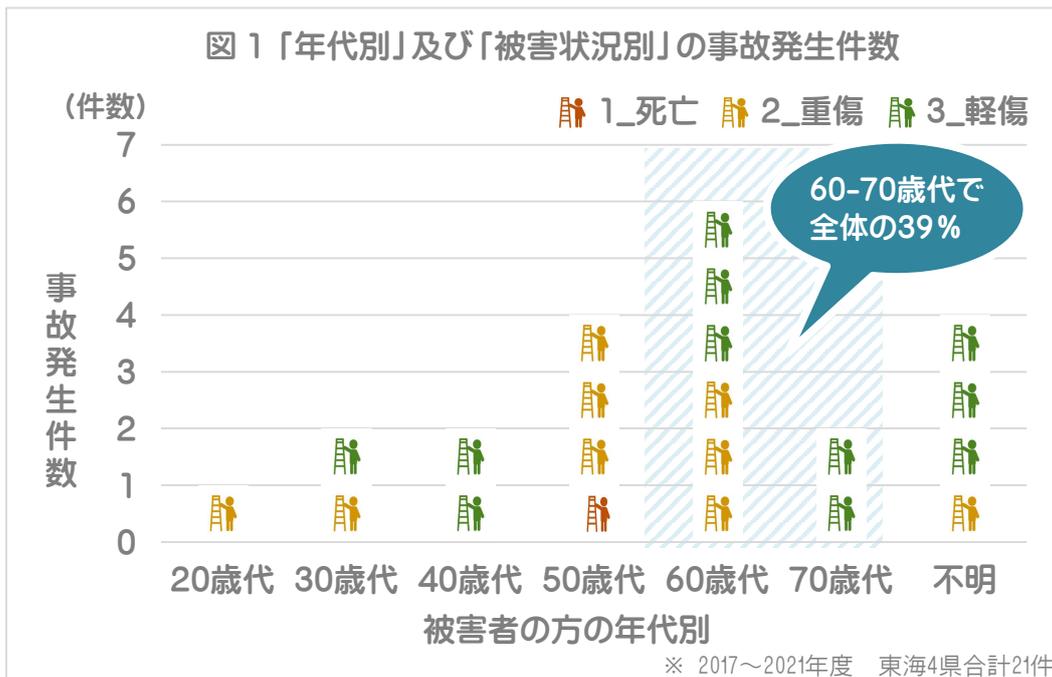


図 1 「年代別」及び「被害状況別」の事故発生件数

(4) 東海 4 県の年代別一事故原因別 事故発生件数

図 2 にはしご・脚立の製品事故の「年代別」及び「事故原因別」の事故発生件数を示します。

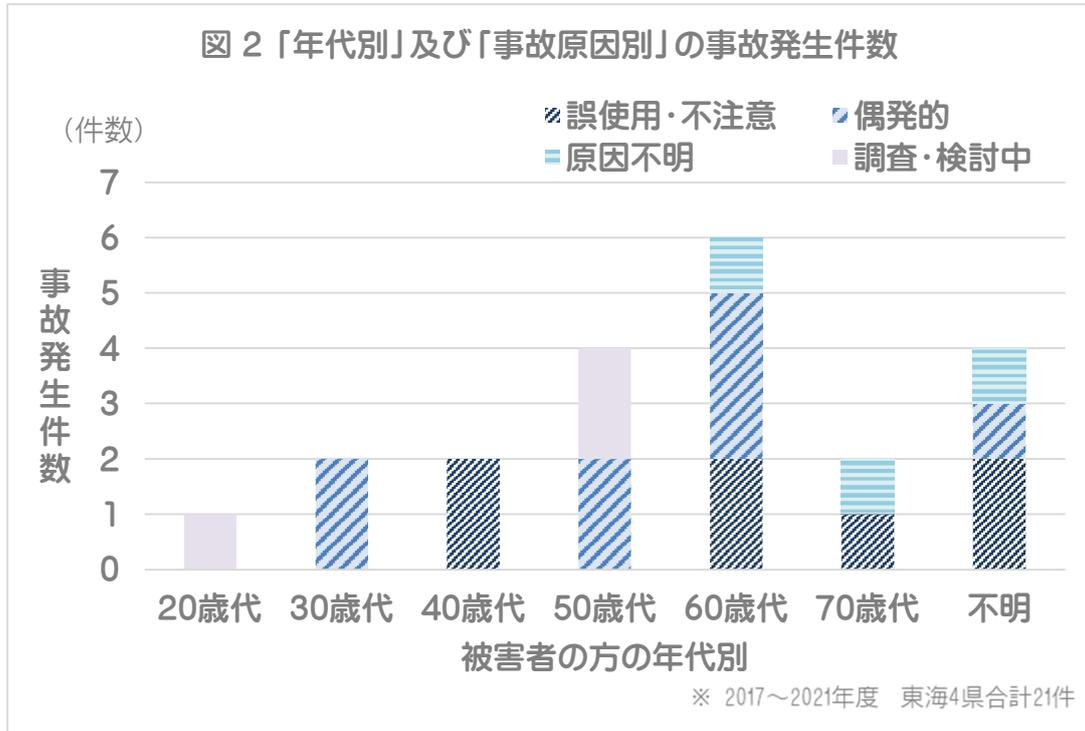


図 2 「年代別」及び「事故原因別」の事故発生件数

(5) 東海 4 県の月別 事故発生件数

図 3 にはしご・脚立の製品事故の「東海 4 県別」及び「月別」の事故発生件数を示します。

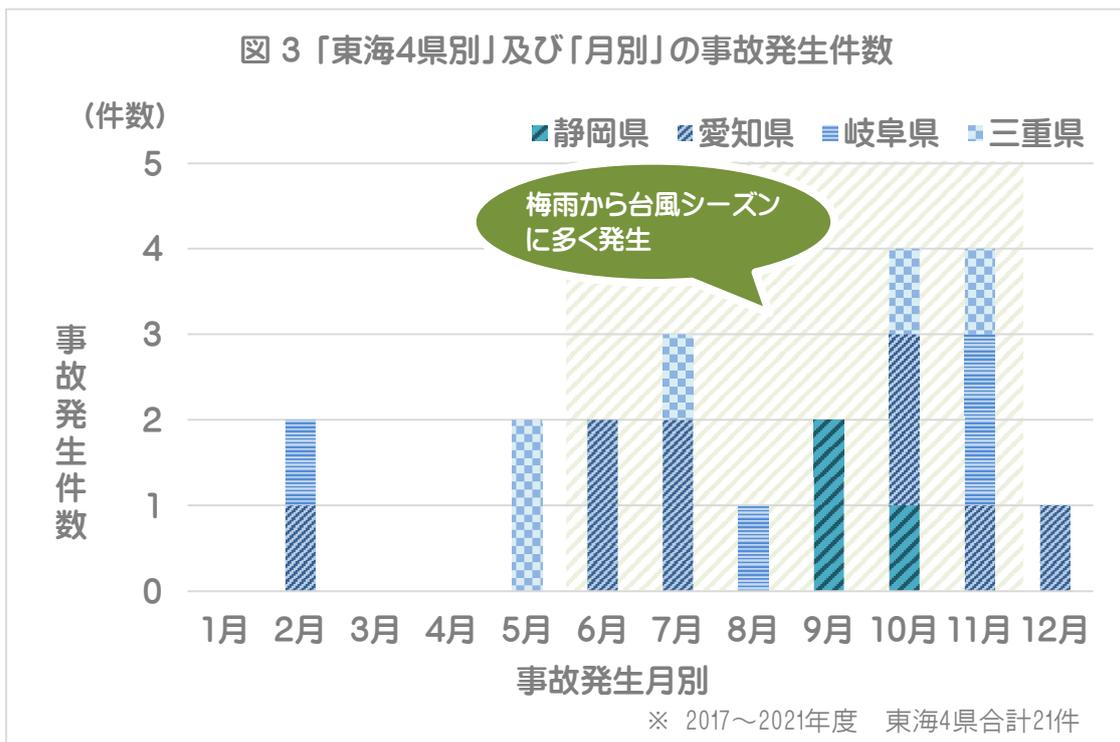


図 3 「東海 4 県別」及び「月別」の事故発生件数

2. はしご・脚立の製品事故の事故事例

(1) 脚立（踏み台）： 脚部が折りたたまれ転倒

2017年7月（三重県、60代・男性、軽傷）

【事故内容】

脚立を使用中、転倒して軽傷を負った。

【事故原因】

脚立を使用する前に開き止め金具をロックしなかったため、天板に乗って作業中に片側の脚部が折りたたまれ転倒し、反対側脚と天板との接合部付近に落下して負傷したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「全ての止め金具を確実にロックする。止め金具のロックが不十分な状態で使うと、足場台が折りたたまれて、転倒や転落のおそれがある」旨、記載されている。

【SAFE-Lite 検索キーワード】（SAFE-Lite については P5 参照）

脚立、踏み台

(2) 脚立： バランスを崩して転倒

2017年11月（三重県、60代・男性、重傷）

【事故内容】

脚立を使用中、転倒し、側腹部を負傷した。

【事故原因】

使用者は窓を清掃の際、脚立の支柱を完全に開ききらない状態で設置し、天板に乗って作業を行ったため、バランスを崩して転倒して重傷を負ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「脚立を完全に開き、開き止め金具を確実にロックする。」旨、記載されている。

【SAFE-Lite 検索キーワード】（SAFE-Lite については P5 参照）

脚立

リコール製品をお持ちの場合は、不具合が生じていなくても使用を中止し、お買い求めの販売店や製造・輸入業者に確認や相談をしてください。

リコール情報を確認する

NITEが公開しているiPhone®向けアプリ『NITE AR-Shot（ナイト アルショット）』を使用することによって、製品のリコール情報をスマートフォンのカメラ機能を使って調べることができます。

【NITE AR-SHOT】

・ アプリ名称：「NITE AR-Shot」（ナイト アルショット）

・ ダウンロードURL

<https://apps.apple.com/jp/app/nite-ar-shot-アルショット/id1615703231>

・ アプリ公式サイト

<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/ar-shot.html>

・ 対応OS：iOS

（※動作推奨環境 iOS ver. 15 以降）

・ 対応言語：日本語



消費者庁のリコール情報サイトにおいて、最新のリコール情報や、キーワードによるリコール情報の検索を行うことができます。また、「リコール情報メールサービス」に登録することでリコール情報が提供されます。

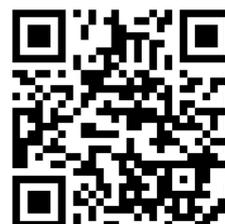
<https://www.recall.caa.go.jp/index.php>



事故品・事例を確認

一般消費者用検索ツール「SAFE-Lite」のご紹介

NITEはホームページで製品事故に特化したウェブ検索ツール「SAFE-Lite（セーフ・ライト）」のサービスを行っております。製品の利用者が慣れ親しんだ名称で製品名を入力すると、その名称（製品）に関連する事故の情報が表示されます。



<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/safe-lite.html>

3. はしご・脚立の製品事故の実験映像等について

はしご・脚立の製品事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「NITE（ナイト）・中部支所」としてください。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒460-0001 名古屋市中区三の丸 2-5-1 名古屋合同庁舎第 2 号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所

支所長 浅井 幹夫

担当者 : 横田 勝、横山

電話 : 052-951-1933、FAX : 052-951-3902、携帯 : 080-3736-7515